

SNSを活用した本庄市のPRに取り組む決議

日本全国で地方の衰退化、大都市への人口流出が問題となっている。

本庄市総合振興計画の中の、基本理念と将来像の一つとして、「訪れたいくなる住み続けたいくなるまちづくり」が掲げられているように、本庄市が魅力的なまちとなり、市民からも市外から訪れる人にも愛されるまちを目指していることは顕著である。

私たちは通学のため毎日本庄市を訪れているが、本庄市についてあまり知らない。本校は市外や県外から通学する学生も多く、本校に入学しなければ本庄という名前すら知らなかった人もいるだろう。自分たちの通う本庄市についてあまり知らないまま高校の3年間を過ごす、本当にこれで良いのだろうか。ただ、本校の学生も本庄市について知ろうとすらしていないわけではない。しかし、新型コロナウイルスの影響で直接の交流は少なく、SNS等の発信も十分であるとは言えない状況だ。

現在、本庄市のSNSアカウントの知名度は低く、SNSから様々な情報を獲得する高校生にとっては本庄市について、知ることのできる情報量が少ない。特にInstagramの市の公式アカウントは「本庄すまいる」という名前で、公式かどうかもわかりづらい。本庄市内に様々な魅力的な施設や飲食店、イベント等があっても知られず、市外から通う高校生は熊谷や高崎、大宮などに遊びに出てしまう。6つも高校のある本庄市が、高校生に市の魅力が伝わりづらいのは、もったいなくないだろうか。

そこで、本庄市民や本庄市内の学生、本庄市外から訪れる人など、あらゆる層に本庄の魅力を伝えるために、SNSを活用して本庄市をPRすることが考えられる。実際、我々、政治経済部が部活動の勧誘をSNSにて行ったところ、沢山の部員が入部したという経験より、SNSの効果が大きいことは明確である。本庄市内で遊びたいと思う学生や、新たに本庄市を住まいにしたいと考える人を増やすためにも、いずれにせよ若年層をターゲットとすることができるSNSは効率が良い。

上記のような考えにより、今年度の高校生議員は、以下のような取組を積極的に推進する。

- 1 Instagramに市の公式アカウントとしてはにぽんのアカウントを作成することを提案する
- 2 市のSNSアカウントのQRコード集を人目につく場所や市内高校に掲示・配布することを提案する

- 3 市の公式アカウントで本庄市内のおすすめスポットやグルメを紹介する投稿
をすることを提案する
- 4 お祭りや市内のイベント前に、インスタグラムのストーリー機能で詳細や魅
力を発信することの提案、また高校生議員も拡散協力をする
- 5 ジャンルごとに本庄市が端的な共通ハッシュタグを設けることを提案する
- 6 私たち高校生が自分から本庄市を発信していくことを心がける

以上、ここに決議する。

令和4年8月18日

本庄市議会高校生議会